

4 - 12 岐阜県中部地震の際の地殻変動観測結果について

京都大学

上宝地殻変動観測所

上宝地殻変動観測所蔵柱観測室における、水平振子型傾斜計 2 成分、水晶管伸縮計 3 成分のいずれについても、地震発生の直前（数日～数時間以内）には、特に異常な変動は全く記録されなかった。ひずみ地震計によっても、直前（数 10 分以内）には異常は観測されなかったが、地震発生と同時に strain step と思われる変動が観測された。その量はスケールアウトのため不明であるが、約 10^{-7} 程度と推定される。N - S、 $N45^{\circ}$ E の 2 方向については縮みであり、 $N45^{\circ}$ W（震央方向に対して直角）方向については 10^{-8} 程度伸びに変動し、約 1 分後大きく縮んでいる。尚、大余震についても strain step が観測されている。